

専齋 SENSAI



リハビリテーション科にて、リハビリ体験中のヘリドッグ太くん。色々なリハビリアイテムに興味津々でした。

診療科紹介

Vol.26 放射線科 PART.2

最新医療紹介

Precision Medicineの時代に
求められるMSI検査

TOPICS

- ・ 診療看護師 (JNP) の紹介
- ・ 第2回パープルデーながさき2019
- ・ チェルノブイリ組織バンク病理部会
- ・ 退役軍人病院 (VA) 病院での研修を終えて
- ・ 永年勤続者表彰式

看護部だより Vol.11

地域医療連携室からのお知らせ

SENSAI ごはん

長與 専齋 (1838年~1902年)

大村藩御殿医の家系に生まれる。緒方洪庵の適塾に学び、福澤諭吉の後を襲い塾頭となる。初代衛生局長として我が国の近代医療制度の確立に尽力した。衛生という言葉をはじめ採用したのも専齋である。専齋の生家は「宜雨宜晴亭」と呼ばれ、長崎医療センター敷地内に移築されている。

診療科紹介 Vol.26

放射線科 PART.2

IVR部門(血管内治療部門)

3名のIVR専門医と1名のレジデントで、IVR(画像下治療・血管内治療)を行っております。IVRとは透視画像やCT画像を用いながら、血管など体内に細いカテーテルを挿入して治療を行う方法です。外科手術を行わずに治療を行うことができ、患者さんにとっては低侵襲で、迅速に治療を行うことができるのが、大きな特徴です。

ドクターヘリ基地病院である当院では、外傷性あるいは非外傷性出血の患者さんの搬送が多く、救命のために緊急カテーテル動脈塞栓術による止血が必要な症例も少なくありません。そのため、年中24時間体制で急患受け入れを行っています。

また、当院は肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓療法(TACE)の件数が九州で最も多い病院の一つです。このほか、心臓血管外科と連携し、大動脈瘤に対するステントグラフト治療、産婦人科と連携し、県内で唯一子宮筋腫に対する動脈塞栓術などの治療も行っております。

放射線治療部門

1名の放射線治療専門医と、1名の非常勤医で放射線治療業務を行っております。また、医学物理士と

放射線治療専任技師の専門資格を持っている放射線技師がそれぞれ1名と8名、放射線治療専任看護師の専門資格を持っている看護師が1名在籍しております。

放射線治療部門には外照射を行う放射線治療装置(ライナック)を2台、腔内照射を行う装置(マイクロセレクトロン)を1台、放射線治療計画用CTを1台有しております。

がんの三大治療の一つである放射線治療。近年、著しく発展している領域がこの放射線治療です。放射線治療には下記のような特徴があります。

- ・ 治癒率が向上し、体の形や機能も保てる
- ・ 高齢者への負担が少ない
- ・ 放射線治療で用いる装置や技術が進歩

患者さんの多くが放射線治療は怖いもので、被爆と似たような副作用が起きるのではないかと考えていますが、決してそうではありません。むしろ、放射線治療だけおこなう場合は、もっとも負担が少ない治療であるといえます。

放射線治療で用いる装置の発展は目覚ましく、当院でも最先端の放射線治療装置を導入しており、この大村でも先端医療施設と同様の放射線治療を受けることができます。



図5 肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓療法(TACE)の様子



図6 最新放射線治療装置 VARIAN 社製 True Beam と放射線治療スタッフ

医学教育について

国内外医療従事者の臨床研究・卒後教育・生涯教育にも貢献しております。放射線科関係では放射線科専門医修練機関、日本IVR学会指導医修練施設、日本放射線治療学会認定施設として、放射線医学の幅広い領域における教育を担っております。さらに、研修医、医学部学生、診療放射線技師、超音波検査士、医学物理士や放射線治療専門技師などの医療人育成にも力を注いでおります。



図8 教育症例集の作成を行う研修医と放射線診断指導医

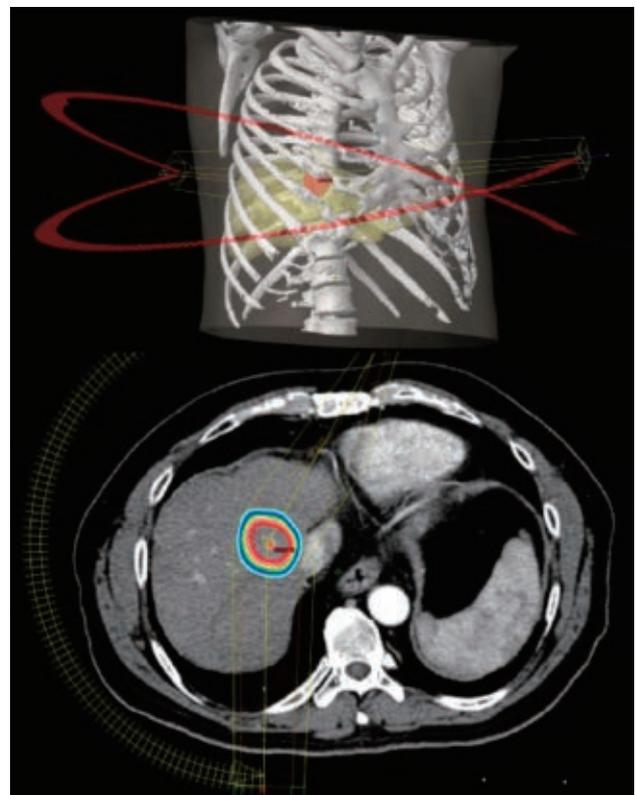


図7 肝細胞癌に対する体幹部定位放射線治療 (ピンポイント治療)

Precision Medicineの時代に求められるMSI検査

臨床検査科・病理診断科 科長 三浦 史郎



1.はじめに

Precision Medicineとは、遺伝子情報、生活環境やライフスタイルにおける個々人の違いを考慮して疾病予防や治療を行うという新しい医療の考え方です。「精密（高精度）医療」とも言われます。類似の言葉として Personalized Medicine（個別化医療）があります。Personalized Medicineは患者の個別診断と治療に影響を及ぼす環境要因などを考慮し、数ある医療方法から患者に適した治療法を抽出・提供する考え方でしたが、医療費の高騰が問題となります。次世代シーケンサー機器の導入により、個人ゲノム情報の解析がより精密かつ高速に分析されるようになり、患者をサブグループに分類し、そのサブグループごとの治療法の確立および予防医療の提供が目指すべきものであるという考え方が Precision Medicineの基本概念と思われれます。実際には、がんの原因となった遺伝子変異を見つけ、その遺伝子変異に効果があるように設計した分子標的薬を使用するといった手法（HER2やc-kitなど）がこれまでその多くを占めていましたが、現在では、乳がん、前立腺がん、大腸がんに対するOncotype DXや種々のがんに対するMSI検査が新たに施行されるようになりました。今後遺伝子発現パネルの導入により、“Precision Medicine”の幅はより広がると考えられます。

2.MSI検査とPD-L1発現

抗PD-1/PD-L1抗体に代表される免疫チェックポイント阻害剤は2018年ノーベル医学生理学賞を受賞した本庶佑（ほんじょたすく）京都大学教授により有名になり、臨床的に広くかつ急速に使用され、多くの患者さんを

救っていることは皆さんご存知の通りです。また、昨年末、「がん化学療法後に増悪した進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性（MSI-High）を有する固形癌（標準的な治療が困難な場合に限る）」のチェックポイント阻害剤の追加適応が行われ、その使用拡大となりました。マイクロサテライト不安定性とは、遺伝子に傷が生じたとき（遺伝子複製のミス）の修復機構に欠損があるため、遺伝子に複数の傷が生じている状態のことを指します。MSIの検査は現在コンパニオン診断薬として承認された「MSI検査キット（FALCO）」を使用し判定を行います。



MSI検査は、マイクロサテライト（繰り返し配列部位）をPCRにより増幅させ、キャピラリー電気泳動の波形によってMSI-Highか否かを判定します。検査に必要な検体は、主に腫瘍細胞を含むFFPE組織（生検検体、切除検体共に可）になります。

3.おわりに

このようなPrecision Medicineの進展に伴い、病理検体の精度管理は非常に重要となっています。

2019年度 診療看護師(JNP)の紹介

2019年度のJNPは5名となりました。今年度の追加メンバーの紹介をさせていただきます。



左から 本田、安達、中原、森塚、伊藤

JNP 本田 和也

2019年4月より脳神経外科のJNPとして復職いたしました本田和也と申します。私は、新人看護師のときから当院に育てていただき早いもので看護師13年目、JNP6年目の春を迎えることができました。2016-2017年度は当院脳神経外科のJNPとして経験を積ませていただき、2018年度は上五島病院内科に異動し、離島における高齢者医療、慢性疾患管理、在宅訪問診療・看護を学ばせていただきました。

JNPは看護の心、治療の視点を意識し、急性期治療だけでなくその後(退院、転院した後)の患者さん(ご家族)の生活も考えながら、日々診療、看護を行っております。当院脳神経外科は離島から救急来院される患者さんも多く、治療後に住み慣れた島に帰ることができるか不安に思われることも多いです。私は脳神経外科のJNPとして離島での学びを活かしながら「本土と離島の架け橋」「患者・家族の一番の理解者」を目指し、新人看護師の時と変わらぬ初心、努力の心を忘れずに頑張っていきたいと思っております。まだまだ若輩者ではございますが皆さまよろしくお願ひ申し上げます。

JNP 安達 杏菜

皆様こんにちは。地元島原で1年間勤務し、再び長崎医療センターへ戻ってまいりました。今年度は外来治療センター配属となり、外来診療や検査・治療などに携

わらせていただきます。外来治療センターには時に重症患者さんが潜んでいることがありますので、そのような患者さんの早期発見・早期治療に寄与できるようなシステムの検討、質の向上に努めていきたいと考えています。私自身外来経験がないので不慣れな点多々ありますが、多職種間のタスクシフティング・タスクシェアリングを意識しながら、効率的な外来診療に貢献できるよう邁進してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

JNP 中原 未智

当院で看護師として5年間勤務後、2019年3月に大学院を修了しJNP認定資格試験に合格することができ、4月よりJNPとして復職致しました。

大学院では、「フィジカルアセスメント」や「臨床推論」など医師による医学教育が中心でしたが、同時に看護師としての視点や多職種に求められる役割についても学び直すことができました。

本年度からの2年間は、卒後研修として各診療科と救急外来を回り、JNPとしての基礎を築く重要な期間になります。臨床でのトレーニングを重ね、患者さんを全人的に捉えタイムリーで的確なケアを提供できる、そして、チーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせるJNPになれるよう精進してまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

第2回パープルデーながさき2019

小児科医師 渡邊 嘉章



毎年3月26日に行われるパープルデーとは、カナダのキャンディー・メーガンさんが始めたキャンペーンで、この日はてんかんをもつ人への応援メッセージを込めて「紫のもの」を身に着けます。近年、講演会や音楽イベントのように皆が楽しみながらてんかんへの理解を深められるようなイベントが各地で開催されるようになっていきます。

長崎では、昨年に引き続き“第2回パープルデーながさき2019”を3月24日に長崎県立美術館で行いましたので、報告させていただきます。昨年は講演形式であったため、てんかんの理解は進んだ印象があったものの、医師始動型であったため、今年は患者さんや一般市民参加型のイベントに変更しました。長崎てんかんグループのメンバーを中心に長崎医療センター、長崎こども医療福祉センター、済生会長崎病院、川棚医療センター等の医療スタッフ、およびてんかんを持つ患者さんがボランティアとして準備し、当日参加しました。

「わぁアート集まろう～みんなで作ろうてんかんアート～」をテーマに、参加者みんなで楽しみながらてんかんの理解を促すための講演会、およびアートワークショップを開催しました。講演会では「わたしのてんかん、あなたのでんかん、みんなのでんかん」をタイトルとして、長崎医療センターてんかんセンター長、小野智憲が講演を行いました。一般参加型のアートワークショップでは、コラージュ、塗り絵、折り紙、缶バッチ製作、ガーランド製作、手形・足形アートの6ブースを企画し、患者さんや子供連れの一般市民が大勢参加し高評価でした。一般参加者は約250名(2018年は203名)となり、大盛況でした。

3月26日-31日はてんかん患者、その家族、医療従事者などでてんかんに関わる全ての方々からのアート作品(絵、写真、書、詩、折り紙作品)を展示し、多くの方々に作品を見ていただき、コメントをいただきました。観光客

の方にも印象に残る作品であったようです。

今後も毎年3月26日前後に“パープルデー長崎”を継続していく予定ですので、ご支援よろしくお願ひいたします。

最後に以下の様に長崎県内のメディアに大きく取り上げて頂きました。

TV: NHK長崎放送局

「イブニング長崎」内「そこが気になる」で特集
イベントの様子を放送後、「てんかん」について特集あり
長崎医療センターてんかんセンター長 小野智憲出演

NBC長崎放送

「あっぶる」内でイベント告知
18時、21時のニュースでイベントの様子を放送

NCC長崎文化放送

17時、21時のニュースでイベントの様子放送

NIB長崎国際テレビ

21時のニュースでイベントの様子を放送

新聞: 長崎新聞<2019年3月25日(紙面、インターネット)>
毎日新聞<2019年3月25日(紙面、インターネット)>
朝日新聞<2019年3月25日(紙面、インターネット)>
インターネット: Yahoo! ニュース



TOPICS

| チェルノブイリ組織バンク病理部会

病理診断科医師 伊東 正博

4月25-26日にロンドンのインペリアル大学で開催されたチェルノブイリ組織バンク病理部会に出席してきました。1998年発足以来、今回で25回目の参加になります。目的は甲状腺腫瘍の正確な病理診断と国際的な共同研究です。これまでに約5,600症例が登録され、核酸など生体試料や臨床情報が蓄積されています。欧米、ウクライナ、ロシア、日本から6名の甲状腺専門病理医が参加し診断確定を行っています。今回は新規の243例の症例の検討が行われました。事前にWeb上でデジタル化したバーチャルスライドを観察し、当日は診断困難症例や診断不一致症例について検討しました。画像専用の会議室には壁一面の高精細モニターが設置され、顕微鏡と同質の画像で検討でき

デジタルパソロジー時代の到来を実感しました。WHO分類が2017年に改訂され診断基準の修正があり、不一致症例が多かった印象でした。

最後にウクライナ代表のタチアナ教授が今年、この分野の功績で第12回永井隆平和記念賞を受賞され、皆で祝福し閉会となりました。



永井隆平和記念賞：原子爆弾による被爆者と放射線被曝事故等による被災者に対する治療及び調査・研究等の分野において、ヒバクシャ医療の向上・発展、ヒバクシャの福祉の向上を通じ世界平和に貢献し、将来にわたる活躍が期待される国内外の個人または団体に隔年毎に贈られる賞。

TOPICS

| 退役軍人病院 (VA) 病院での研修を終えて

形成外科医師 野口 美帆

昨冬2019年1月28日から5週間、国立病院機構主催の若手医師向け留学制度を利用して、アメリカ、ロサンゼルス(LA)の退役軍人病院で形成外科の研修をさせていただきました。同病院は中高年男性が主な患者層であり、軍に従事した人々が医療費を支払わずに受診できる病院です。診療内容は一般の市中病院のような印象で、そこで手術や外来見学、加えて近隣の大学であるカルフォルニア大学ロサンゼルス校でのカンファレンスに参加しました。

実際の現場では医療スタッフが皆にこやかで明るく、上級医は教育熱心であり医学生の間診なども堂々として見えました。一方でホームレスの患者、治療費が高いために家を売却した患者、医療用オピオイド依存患者など、医療に関する様々な社会問題にも触れ、どれも貴重な経験となりました。中でもやはり、同じ専門領域を学ぶ同志、同世代の医師と交流が持てたことが今回一番の財産であったと思います。LAは気候も立地も過ごしやすく(観光地も多く)、興味のある先生に本研修制度はぜひおすすめです。渡航に際して様々なお力添えを頂いた先生方に改めて感謝申し上げます。



同じ期間に研修した先生と一緒に修了証をいただきました



グランドキャニオン国立公園にて

看護部だより Vol. 11

災害訓練を終えて

手術室看護師 坂中 孝徳

当手術室では毎年、予定手術の少ない日を活用して、術中災害発生時の速やかな避難ができるように手術室看護師、医師合同の火災避難訓練を実施しています。避難訓練では、消火器や担架の使用方法を久原分署の消防隊員より説明を受け、消火器や担架の使用方法に対して理解を深めることが出来ました。



今年は、器械だし看護師、外回り看護師と業務担当ごとに行動内容が書かれたアクションカードを活用し、手術中の患者さんを安全により速やかに避難させる訓練を実施しました。

今回の災害訓練を通して再認識した点が3つあります。

まず、スタッフ1人1人が日常から災害が起きたらどのように対処するのか想定し、心構えを持つ「自助」の姿勢、災害が発生した場合、リーダーを中心とした指揮系統のもとコミュニケーションを取り合い、共に助け合う「共助」の姿勢、さらに必要に応じて他機関へ協力を要請し、協力を得るという「公助」の姿勢です。

災害に対する備えには絶対だとか、十分ということはありません。日常からのあらゆる準備が重要になってきます。まさに、“備えあれば憂いなし”ではないでしょうか。



TOPICS

永年勤続者表彰式

職員係長 中村 郁弥



5月14日、長年に渡って病院に働き貢献した職員の労をねぎらい、表彰する永年勤続者表彰式が行われました。勤続20年、30年に到達している正職員を対象に授与されます。今年は11名の職員が表彰を受けました。

表彰されたみなさん、永年勤続表彰おめでとうございます。今後も健康に留意され、一層活躍されることをご期待しております。

No.	職名	氏名	年数
1	副院長	八橋 弘	30年
2	副看護部長	森田 恵	30年
3	看護師	久保 三紀子	30年
4	RI検査主任	岩佐 孝史	30年
5	看護師長	井口 麻里	20年
6	看護師	古関 美香	20年
7	看護師	道副 照美	20年
8	看護師	山口 多紀	20年
9	撮影透視主任	石田 秀樹	20年
10	細菌血清主任	浦山 智子	20年
11	主任臨床工学技士	谷脇 裕介	20年

地域医療連携室 からの お知らせ

高度救命救急センターの受け入れ制限について

当院の高度救命救急センターにおいて、アシネトバクター・パウマニという菌が検出されたため、患者さんへの影響を考慮し、令和元年5月13日から高度救命救急センターへの受け入れ制限を実施しております。

地域の皆様にはご不安、ご心配をおかけして大変申し訳ございませんが、受け入れ再開に向けて全力で取り組みを行っておりますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

高度救命救急センターの再開につきましては、改めてお知らせいたします。

最新の情報は長崎医療センターホームページ (<https://nagasaki-mc.hosp.go.jp>)にてご確認ください。

SENSAIごはん

アジの
さっぱりトマト煮

アジが大きい時は
揚げ時間を長く
することで柔らかく
食べられるよ。



材料(3人分)

- アジ 3匹
- トマト 1個
- 玉ねぎ 1/4個
- にんじん 1/6個
- ピーマン 1/4個
- にんにく 1かけ
- ローリエ 1/2枚
- 酢 大さじ2
- 塩 小さじ1/3
- 小麦粉 適量
- 揚げ油 適量

作り方

- ① アジは三枚におろし食べやすい大きさに切り、水気をよく拭き取って小麦粉をまぶす。
- ② たまねぎとにんにくは薄切り、にんじんとピーマンは細切り、トマトは湯むきをしてざく切りにする。
- ③ ①を160℃の油に入れ、2-3分ほど揚げる。
- ④ ③の揚げ油を少々取り出し、玉ねぎ、にんじん、ピーマンを1分ほど揚げ焼きにする。
- ⑤ ④にトマト、にんにく、ローリエと酢、塩を加え、弱火で10分ほど煮る。
- ⑥ ⑤を揚げたアジの上につけ、味をなじませる。

管理栄養士 中川より



アジは5月から旬を迎え、タンパク質や脂質、ビタミンB群やミネラルなど全ての栄養素がバランスよく含まれていることが特徴です。タンパク質は私たちの身体を構成するためになくてはならない栄養素の1つであり、その中でもアジには必須アミノ酸という物質が豊富に含まれています。必須アミノ酸は私たちの体内で合成することができないため、食事から積極的に摂取することが大切です。

理念

高い水準の知識と技術を培い
さわやかな笑顔と真心で
患者さん一人一人の人格を尊重し
高度医療の提供をめざす

長崎医療センターの使命

長崎医療センターは以下の活動を誠実にを行い、地域拠点病院として住民の皆さんと医療機関からの信頼を得ることを使命としています。

- 安全で質の高い医療を提供する
- 絶対には断らない救急医療の最後の砦となる気概を持つ
- 地域の医療機関、行政と密接に連携する
- すべての医療人と学生に魅力的な教育研修を提供する
- 臨床研究を推進し、国際医療協力に貢献する